



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 小松マテレー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 大輔
問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 中村 重之 (TEL) 0761-55-8000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	29,529	8.8	1,935	38.9	2,451	20.9	2,665	82.8
2024年3月期第3四半期	27,146	2.0	1,394	0.3	2,028	40.0	1,458	45.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,046百万円(42.5%) 2024年3月期第3四半期 2,137百万円(28.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	66.54	—
2024年3月期第3四半期	36.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	51,600	39,968	77.2	998.17
2024年3月期	49,998	37,937	75.6	943.89

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 39,820百万円 2024年3月期 37,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
2025年3月期	—	12.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	6.4	2,100	13.1	2,900	9.7	2,600	41.1	64.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
除外1社 (社名) 小松精練 (蘇州) 有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	43,140,999株	2024年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,247,996株	2024年3月期	3,086,630株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	40,050,627株	2024年3月期3Q	40,032,340株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加もあり、緩やかな回復基調を維持しております。一方で、不安定な国際情勢や資源価格の高騰、為替動向、さらには国内における物価上昇等による個人消費の冷え込み等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした経済環境のもと、当社事業に関しまして、国内向けは営業活動を強化した衣料分野を中心に堅調に推移し、海外においても、欧米、中東、アジア市場等への更なる拡販に努めました。その結果、国内・海外ともに売上は増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間において、当社は「アクティブ素材展」を開催し、透湿防水ファブリック「クアトロニ EX」を発表いたしました。本新素材には、新たに当社が開発した技術「VDR Technology」が搭載され、裏材を使用しない2層素材によるサステナブルな素材となっており、今までにない表情感と肌離れ感を実現しております。

また、当社の汚泥減容製剤「ベリフォーマー」が、石川発の優れた製品やサービスなどに与えられる「いしかわエコデザイン賞」の大賞を受賞いたしました。これは、ごみ(余剰汚泥)の発生を無くし、持続可能な社会の実現に貢献する点が高く評価されたことによります。さらに、2024年の能登半島地震で発生した膨大な廃瓦を有効な資源として利用したブロック材「グリーンビズ・グラウンド瓦」は、機能性や安全性を有した廃瓦のリサイクル製品として、「石川県エコリサイクル製品」に認定されました。本製品の活用を始めとし、当社はこれからも被災地の復興に貢献してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は295億29百万円（前期比8.8%増）となり、営業利益は19億35百万円（前期比38.9%増）、経常利益は24億51百万円（前期比20.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億65百万円（前期比82.8%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック部門に関しては、市場の要求に応えられる付加価値の高い高感性・高機能素材や、環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。第3四半期連結累計期間では、主に北米ファッション、中東民族衣装が海外向けの売上を牽引しました。なお、海外向けスポーツ分野が需要低迷した一方で、国内向けファッションが総じて増加したことから、当部門全体としては増収となりました。

資材ファブリック部門については、リビング分野において不採算事業から撤退したものの、車輻分野や生活関連資材分野で受注が増加し、当部門全体としても増収となりました。

製品部門におきましては、販売体制を強化し、自社製品ブランドの市場への浸透を図ったことにより増収となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は291億44百万円となりました。

(その他の事業)

物流分野の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億85百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、516億円となり、前連結会計年度末に比べ16億1百万円増加しました。これは主に繰延税金資産が5億90百万円、原材料及び貯蔵品が2億19百万円減少したものの、有価証券及び投資有価証券が20億26百万円、現金及び預金が3億24百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、116億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億29百万円減少しました。これは主に未払法人税等が3億1百万円、賞与引当金が2億74百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、399億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億30百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定が4億32百万円減少、自己株式が1億7百万円増加したものの、利益剰余金が17億77百万円、その他有価証券評価差額金が7億96百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の動向を踏まえ、2024年10月30日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想を修正しております。これは、当第3四半期において衣料分野における原燃料コスト高に対しての値上交渉及び品種転換等の営業活動の強化の成果が前倒しで進捗していること等を考慮し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想を上回る見通しとなったためであります。

なお、今回公表した業績予想については、修正が軽微であり、証券取引所の定める適時開示基準に達していないため別途開示はしていません。今後、基準に達した場合には速やかに適時開示を実施いたします。

また、業績予想は今後の社会情勢の状況や国内外の市場動向等の影響によって変動する可能性があり、実際の業績は今後様々な要因によって予測値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,065	9,390
受取手形	1,470	1,512
売掛金	6,374	6,386
有価証券	3,000	4,000
商品及び製品	1,813	1,702
仕掛品	845	844
原材料及び貯蔵品	2,441	2,221
その他	131	455
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	25,123	26,494
固定資産		
有形固定資産	7,391	7,560
無形固定資産	972	1,817
投資その他の資産		
投資有価証券	14,157	15,183
繰延税金資産	901	311
その他	1,489	284
貸倒引当金	△37	△52
投資その他の資産合計	16,511	15,727
固定資産合計	24,875	25,105
資産合計	49,998	51,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,047	5,321
未払法人税等	553	251
契約負債	94	55
賞与引当金	600	326
その他	2,138	1,871
流動負債合計	8,434	7,826
固定負債		
退職給付に係る負債	3,397	3,493
その他	229	312
固定負債合計	3,627	3,805
負債合計	12,061	11,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,631	4,610
利益剰余金	29,972	31,750
自己株式	△3,533	△3,640
株主資本合計	35,750	37,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,544	2,341
為替換算調整勘定	507	74
退職給付に係る調整累計額	4	3
その他の包括利益累計額合計	2,056	2,419
非支配株主持分	130	148
純資産合計	37,937	39,968
負債純資産合計	49,998	51,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,146	29,529
売上原価	21,800	23,174
売上総利益	5,346	6,355
販売費及び一般管理費	3,952	4,419
営業利益	1,394	1,935
営業外収益		
受取配当金	156	171
持分法による投資利益	227	248
為替差益	—	3
移転補償金	109	—
その他	177	148
営業外収益合計	670	571
営業外費用		
支払利息	—	1
為替差損	2	—
不動産賃貸原価	26	25
為替予約評価損	0	—
貸倒引当金繰入額	—	25
その他	7	2
営業外費用合計	37	55
経常利益	2,028	2,451
特別利益		
固定資産売却益	0	82
投資有価証券売却益	0	400
投資有価証券償還益	—	101
関係会社清算益	—	711
特別利益合計	1	1,296
特別損失		
固定資産売却損	18	—
固定資産除却損	44	51
投資有価証券評価損	—	0
災害損失	2	26
資産除去債務履行差額	—	14
特別損失合計	66	92
税金等調整前四半期純利益	1,963	3,655
法人税、住民税及び事業税	429	598
法人税等調整額	56	374
法人税等合計	486	972
四半期純利益	1,477	2,682
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,458	2,665

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,477	2,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	506	776
為替換算調整勘定	159	△432
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	20
その他の包括利益合計	660	364
四半期包括利益	2,137	3,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,118	3,028
非支配株主に係る四半期包括利益	19	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	755百万円	952百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,753	392	27,146	—	27,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	1,367	1,390	△1,390	—
計	26,776	1,760	28,536	△1,390	27,146
セグメント利益	1,316	68	1,385	8	1,394

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,144	385	29,529	—	29,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	1,463	1,487	△1,487	—
計	29,168	1,848	31,017	△1,487	29,529
セグメント利益	1,877	49	1,927	8	1,935

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。